

くらしをささえる乗りもの

# がんばれ! 田んぼマシン

写真 星野秀樹

文 池田菜津美

田んぼでは

こんなにたくさんの乗りものが  
かっやくしているんだよ!

トラクター1号  
⇒2、4、7、8ページ

トラクター2号  
⇒6ページ

灌漑機  
⇒20ページ

コンバイン  
⇒26、28ページ

田植え機  
⇒12、14ページ

ライムソウ  
⇒6ページ

噴霧器  
⇒後見返し

ロータリー  
⇒7ページ

あぜめり機  
⇒2、4ページ

ハロー  
⇒8ページ

草刈り機  
⇒18ページ

次はわたしだよ！ ライムソーで  
田んぼに肥料をまいて、  
トラクター1号にバトンタッチ。

トラクター2号

ライムソー

ここに肥料が入っている。

下から肥料が落ちる。

あぜができたら、ライムソーで肥料をまき、ロータリーで土をたがやします。これを田起こしと言います。ここでもトラクターが大がやく。あぜぬり機やライムソー、ロータリーは、トラクターのアタッチメント(付属装置)で、トラクターに付けかえて使うことができます。田起こしをしたあとの土はふかふかで、養分をたくさんふくみ、イネが根をはりやすくなります。



さあ、またトラクター1号の出番だ。

ロータリーで土をたがやして、

ふかふかにするぞ。

ロータリー

トラクター1号

土が飛ぶのを  
ふせぐカバー

後輪はキャタピラだから、  
こぼこの土の上でも  
動ける。

大きなつめが  
たくさんある。

カバーの下でつめが回転して  
土をかきまぜ、  
ふかふかにする。

運転席

ハンドルやレバーがあり、苗のせ台を上げ下げするレバーもある。足元にはアクセルとブレーキがある。



田んぼを  
華麗に走る！  
スマートなマシン

# 田植え機 のひみつ

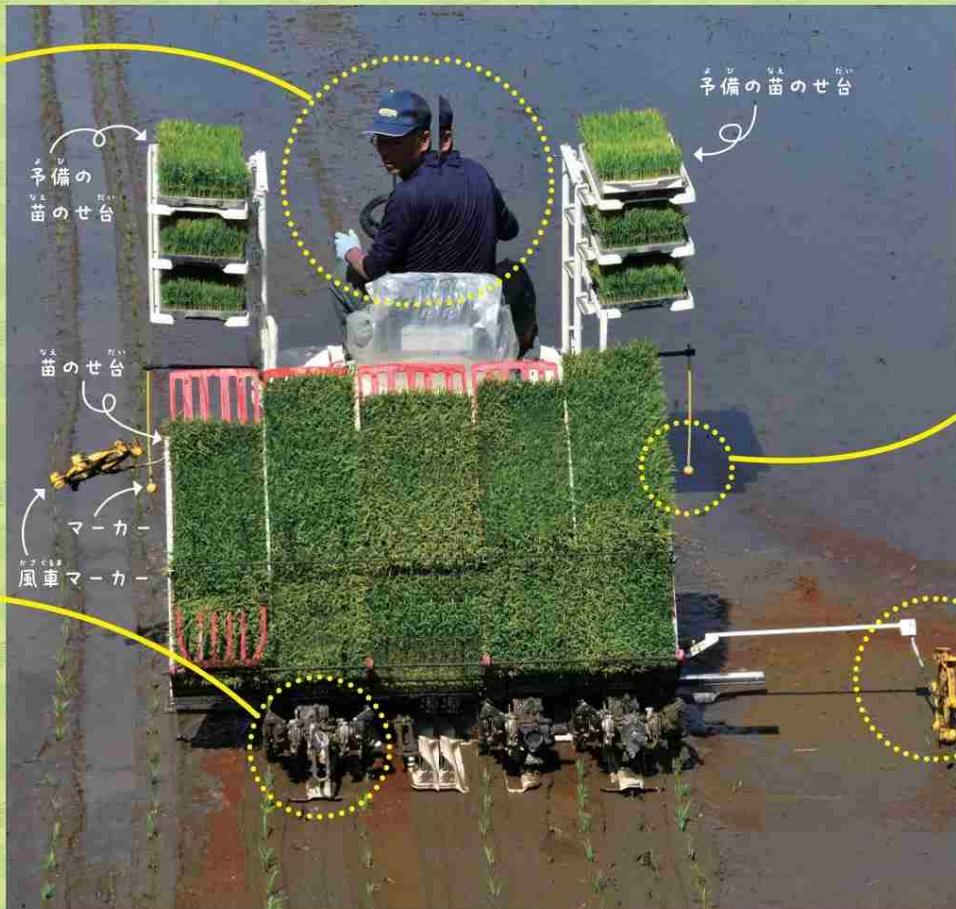
## 苗をまっすぐ植えるためのマーカー

### 苗をつかむつめ

苗のせ台の下に、植え付けつめがある。このつめで苗をつかみ、どろの中にイネを植える。



つめを拡大したところ。ふたまたになった部分(→)で3~4本の苗をはさむ。



マーカーとあぜのふちと合わせると、まっすぐに植えられる。



風車マーカーとよばれる。どろに筋をつけて、自印をつける。

マーカーをあぜのふちに合わせたり、マーカーがつけた筋を自印にしたりすると、苗をまっすぐ植えられる(16ページでもくわしく解説)。

### 苗の植え方

植え付けつめのついたアームが2本あり、2本が交互に苗を植える。



アーム②が苗を植えたところ。アーム①は苗のせ台から、苗を引きぬいたところ。



アーム①が苗ガイドという溝にそって、下へと動いていく。



アーム①がどろの中に入り、苗を植える。



次は、苗をつかんだアーム②が苗ガイドにそって動き、苗を植える。

## 運転席

ハンドルやたくさんのスイッチ、レバーがあり、イネをかり取る高さを変えたり、米をうつきかえるための筒を動かしたりできる。

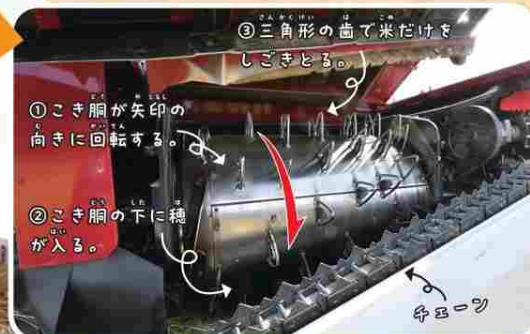


田んぼマシン界NO.1の  
重厚で複雑なボディ

# コンバインのひみつ

## コンバインの中で脱穀する

コンバインの中へ送られたイネは、チェーンの上を移動し、こき胴まで運ばれる。こき胴には三角形の歯が付いていて、こき胴が回転すると穂から米だけがしこき取られる。



## イネの茎や葉は外へはき出す



## イネをきるバリカン



## イネを送るつめ

引き起こしづめとよばれる部位で、イネをコンバインの中へ送っていく。イネがたおられていても、つめで立ち上げることができる。

